

♪ヤンリヤめでたお(子)

万歳から漫才へ



尾張万歳

御殿万歳
門付万歳

尾張万歳保存会



コンパス

音曲漫才の
新境地



宮田陽・昇

東京漫才協会
四天王



常磐津連中

常磐津連中
乗合船恵方万歳



司会・進行

鈴木英一
(伝承ホール寺子屋プロデューサー)

2019年11月1日(金)

午後6時30分開演(午後6時開場)

渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール(6階)

主催 渋谷区

www.shibu-cul.jp

協力:公益財団法人ホーパ伝統文化振興財団

全席指定 2,500円【税込】 8/23(金)10時発売開始

チケットお申込み

- 電話・インターネット予約
- チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード:495-467
- 直接販売・お問合せ
- 渋谷区文化総合センター大和田(3階) ホール事務室
TEL.03-3464-3252 (受付時間 10:00~19:00)



渋谷区民先行優待販売 8/17(土)から文化総合センター大和田(3階)ホール事務室にて、なくなり次第販売終了。区内在住、在勤、在学を証明できるものを持参。

※公演時間は2時間程度を予定しています(途中休憩有)。※都合により出演者・演目に変更になる場合がございます(不可抗力により表記日時公演を中止する場合は、チケットの払い戻しは致しませんので、予めご了承ください)。※未就学児のご入場・ご同伴はご遠慮ください。※場内での撮影・録音・飲食は固くお断りします。※車椅子席はホール事務室にお問合せください。



尾張万歳保存会

永らく知多万歳保存会として活動をしてきましたが、国の重要無形民俗文化財に指定された平成8年を機に、改めて尾張万歳保存会として発足しました。

現在では門付万歳に出かける人はいなくなりましたが、今も保存会によって、正月の行事や式典の出し物として、主に舞台向けの御殿万歳などが演じられています。最近では、全国の万歳を集めた共演会も各地で開催され、万歳の活性化のために積極的に参加しています。しかし、後継者不足から、基本である五万歳などが忘れられつつあるのも現状。そのため、保存会では、伝承講座を開講したり、先祖から引き継いできた資料などをもとに失われつつある演目の保存・伝承に努めています。

尾張漫才とは

尾張万歳は、現在の名古屋市東区矢田町にある長母寺を、臨済宗の寺として開いた無住国師が、鎌倉時代の正応年間(1288~1293)に作ったといわれています。彼は晩年、寺で働いていた有助親子に、「ここに仏教を説いて万歳を作ったから、この先暮らに困るようなことがあったら、この万歳を唱えて軒ごとに歩け」と、法華経を分かりやすく、歌えるものとして与えました。そして有助親子は万歳に節を付け、寺の領内を舞い歩くようになり、これが後に領地の知多半島などにも伝わったというのが定説になっています。以来、愛知県内各地に伝わり、正月の祝福芸として庶民に親しまれ、平成8年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

宮田陽・昇

宮田 陽(みやた・よう) 1968年4月26日生まれ 秋田県出身 ポケ担当
 宮田 昇(みやた・しょう) 1976年10月31日生まれ 広島県出身 ツッコミ担当
 1999年8月 漫才コンビ結成
 2001年5月 宮田章司一門に入門
 2013年 漫才協会認定の真打に昇進
 11月の第44回漫才大会にて真打披露を行う

受賞歴

2004年 第3回漫才協会主催漫才新人大賞・優秀賞
 2005年 第4回漫才協会主催漫才新人大賞・大賞
 2012年 第66回文化庁芸術祭賞大衆芸能部門新人賞
 2017年 国立演芸場主催・平成28年度花形演芸大賞・銀賞

コンパス

西本宏一(にしもと・こういち) 1981年5月10日生まれ 東京都出身 ポケ担当
 中島和彦(なかじま・かずひこ) 1981年3月3日生まれ 富山県出身 ツッコミ担当
 2006年1月 コンビ結成
 2007年 練馬タートルズ改めコンパスとして活動
 2014年 千葉県警流山警察署 一日警察署長

受賞歴

2011年 第10回漫才協会主催漫才新人大賞・大賞
 2012年 お笑いつるつるイッパイヤ!!準大賞
 2014年 第1回EMILEコース・ジャパン民謡コンクール奨励賞

常磐津連中

浄瑠璃 常磐津和英太夫 常磐津節浄瑠璃方。五代目佐太夫に師事し昭和62年初舞台。平成28年より歌舞伎タテ語り。早稲田大学演劇博物館招聘研究員。伝承ホール寺子屋プロデューサー。
 常磐津仲重太夫 常磐津節浄瑠璃方。初代仲尾太夫、三代目八重太夫に師事し昭和55年初舞台。平成28年より歌舞伎タテ語り。
 三味線 常磐津菊寿郎 常磐津節三味線方。父・初代菊寿郎に師事し、平成24年に二代目を襲う。平成15年より歌舞伎タテ三味線。重要無形文化財「常磐津節」(総合指定)保持者認定。

古典の日とは

国民が日本の古典に親しみ、理解を深めるために設けられた記念日。(平成24年9月公布・施行)「紫式部日記」によって源氏物語の存在が確認される最古の日付が1008(寛弘5)年11月1日であることに由来している。

●お問合せ

渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務局
 TEL 03-3464-3252 (受付時間 10:00~19:00) FAX 03-3464-3289

我が国では毎年11月1日を「古典の日」と定め、伝統文化への理解を深める事業の実施を各自治体に促しています。渋谷区では、伝承ホール寺子屋プロデュースのもと様々なジャンルの普及公演を行い、皆様を伝統芸能賞品の入口に誘わせて頂いております。

今年は令和改元の祝賀として「祝福藝・万歳」をご覧頂きます。「万歳」というのは、年頭に家の前で一年の幸せを予祝してくれる藝のことをさします。この貴重な藝態を保存伝承している団体の中から、今日は国指定重要無形民俗文化財でもある「尾張万歳」の保存会をお招きすることができました。なぜ尾張万歳を撰んだか、これは伝承の確かさはもちろんのこと、この尾張万歳が現在のお笑いの「漫才」の直接の源流だからです。この系譜を追究してみたいと、「万歳から漫才へ」という大胆な企画を立ててみました。ぜひ「古典の日」に、蕁蓄(うんちく)を深めながら笑壺に入って頂きたいと存じます。東京漫才協会からは協会各賞を受賞してきた実力コンビ、宮田陽・昇、コンパスの二組の登場です。東京のお笑いの“いま”を味わって頂けること請け合いです。序幕には尾張のお隣・三河万歳を題材として取り入れた常磐津の「乗合船恵方万歳」をお聞き頂きます。

なお、この講座は伝承ホール寺子屋の公開講座でございますので、小学生を中心とした塾生も臨席させて頂いております。初めて生で見る「万歳」と「漫才」に、驚きの声などもあげてしまうかも知れませんが、次代の伝統芸能愛好者を育てる機会と思召し、なにとぞご寛容のご見物を宜しくお願い申し上げます。

鈴木英一(伝承ホール寺子屋プロデューサー)

渋谷区文化総合センター大和田

SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21
<http://www.shibu-cul.jp>



アクセス1: 渋谷駅より徒歩5分
 国道246号を越えてセルリアンタワーと渋谷インフォスターの間に位置します
 アクセス2: 大和田シャトルバスまたはハチ公バス(夕やけこやけルート)にて
 乗車時間約2分
 バス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車